

モニタリングレポート(令和4年度)					
施設名	鈴鹿川河川緑地運動施設				
施設所在地	鈴鹿市庄野町1198番地の1外				
指定管理者名	株式会社GFM				
評価担当課	スポーツ課		問合せ先	059-382-9029	
施設の運営状況	(確認方法)月次報告書, 年度事業報告書				
開館日数	357日	総利用者数	22,947人	1日当たりの利用者数	64
開館時間	・4月1日から9月30日までは午前7時から日没まで ・10月1日から翌年3月31日までは午前7時から午後5時まで				
事業収支	(確認方法)年度事業報告書				
項目	計画値(単位:円)		実績値(単位:円)		計画比(単位:円)
指定管理料	4,700,000		4,700,000		0
利用料金	0		0		0
事業収入	0		0		0
収入計	4,700,000		4,700,000		0
人件費	3,000,000		3,017,616		17,616
旅費交通費	150,000		154,914		4,914
通信運搬費	0		0		0
受信料	0		0		0
消耗品費	420,000		255,994		▲ 164,006
修繕費	300,000		9,900		▲ 290,100
印刷製本費	0		0		0
燃料費	65,000		142,072		77,072
光熱水費	0		0		0
賃借料	0		0		0
手数料	0		525		525
保険料	150,000		0		▲ 150,000
委託費	110,000		0		▲ 110,000
本部管理費	50,000		10,000		▲ 40,000
備品購入費	80,000		0		▲ 80,000
自主事業経費	0		0		0
租税公課	347,700		376,000		28,300
支出計	4,672,700		3,967,021		▲ 705,679
収支	27,300		732,979		705,679

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価してください。)	月次報告書	○	すべて適切に履行されている。
	現地調査	○	すべて適切に履行されている。
	定例報告会	○	すべて適切に履行されている。
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価してください。)	アンケート	普通	ただし、年間の総利用者数に対しての有効回答数が極端に少ない。
	現地調査	優良	利用者の安心快適な施設使用のため、除草作業を徹底して行っている。
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価してください。)	貸借対照表	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	損益計算書	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	年度事業報告書 (事業収支表)	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
年度業務報告書の内容評価			(適)・不適
無料で利用可能な施設でありながら、利用者の快適性を重視した施設整備を常に心がけ、日常的なサービスの質を維持し、適宜施設設備の維持修繕等を行えている。 利用者の意見や要望の把握のために行っているアンケート調査に関し、総利用者に対する有効回答数が極端に少ないことから、アンケートの回収率の向上を期待する。			
定例報告会の頻度と内容の評価			(適)・不適
3ヶ月に一度関係課合同で報告会を開催し、報告書に関する質疑応答や課題の共有を行った。新型コロナウイルス感染症のため、令和3年度からオンライン開催を導入したが、適宜実地開催に変更するなど状況に応じ臨機応変に対応している。			
緊急時の対応評価			(適)・不適
河川の増水時の対応につき、出水期を前に、平時に訓練も行うなど、危機管理の意識を高く持ち、被害を最小限に留める準備・体制ができている。			
指定管理者の総括評価			(適)・不適
施設の芝生管理は、施設利用者の快適性を最優先にした維持管理を行っており、無料でありながら質の高い施設サービスを提供している。 令和4年度においては自主事業として、施設内の維持管理を目的に除草や落葉回収を行っているが、新型コロナウイルス感染症も5類相当に格付けされたことから、施設を活用した市民参加型の自主事業の企画・運営を積極的に行っていくことが望まれる。			
施設の課題と対策			
増水時には備品等の撤去も行わなければならないことから、出水期には危機管理意識を高く持って業務に当たる必要がある。			
施設の方向性			
年間を通じて安定して施設の利用者が訪れ、公園施設と合わせて大規模なイベントも開催可能な施設であり、今後、新型コロナウイルス感染症によって中止が続いているバルーンフェスティバルや各種競技大会が復活してくる可能性も高いことから、施設の維持修繕、備品等の更新を適宜実施し、施設を継続していく方向性である。			